

感染症情報 12月17日～12月23日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1830例(堺市 186例)
②溶連菌感染症	595例(堺市 65例)
③咽頭結膜熱	199例(堺市 14例)
④みずぼうそう	157例(堺市 13例)
⑤RSウイルス感染症	138例(堺市 12例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2805例(堺市 217例)

感染症報告数は前週比0.3%増の3,245件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、みずぼうそう、RSウイルス感染症の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比6%増、堺市で前週比32%増であった。溶連菌感染症が府下では前週より2%増、堺市で前週63例→65例は3%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週比7%減、堺市で11例→14例であった。みずぼうそうが府下で前週より16%増、堺市では前週3例→今回13例であった。RSウイルス感染症が府下で前週比3%減、堺市で前週10例→12例であった。伝染性紅斑(りんご病)は府下で15%減の95例となった(第7位のまま)。

インフルエンザは府下で前週1165例→今回2805例であった(141%増、定点当たりの報告数は3.8→9.3)で、堺市では前週66例→今回217例となった(229%増)。

麻疹の報告が府下で1例あり、風疹は府下で前週4例→今回2例あった(堺市はなし)。